

(様式 1-3)

巨理町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成26年6月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	51	事業名	防災公園整備事業	事業番号	D-22-1
交付団体	巨理町		事業実施主体 (直接/間接)	巨理町 (直接)	
総交付対象事業費	140,400 (千円)		全体事業費	1,298,160 (千円)	
事業概要					
<p>本事業は、巨理町震災復興計画における基本方針(1)「安全」と「安心」を確保するまちづくりを踏まえ、津波から「生命」を守る避難施設の整備を図るもの。</p> <p>復興交付金を活用して整備する津波からの2次防御ライン(荒浜港今泉線、橋本堀添線道路整備事業)以東の沿岸部において、津波襲来時に避難が遅れた者の生命を確保するため、一時的な避難が可能な防災公園の整備を行う。(想定避難者：現地再建商工業者、漁業者、農業耕作者、墓地参拝者等を想定)</p> <p>公園種別：総合公園、近隣公園</p> <p>なお、防災公園の整備内容については、避難丘4基等、防災公園として最低限必要な整備を行う(整備面積：12.70ha)。</p> <p>本事業で整備する防災公園は、町の津波避難計画に一時避難場所として位置付けている。</p> <p>巨理町震災復興計画</p> <p>該当箇所：P21 安全で安心な防災まちづくり</p> <p>概要：海岸緩衝緑地帯整備事業(高台避難施設整備)</p>					
当面の事業概要					
<p>〈平成26年度〉</p> <ul style="list-style-type: none">・都市計画決定及び事業認可取得、現況測量、並びに詳細設計 <p>〈平成27年度〉</p> <ul style="list-style-type: none">・工事					
東日本大震災の被害との関係					
<p>東日本大震災による津波により家屋、人命等甚大な被害を受けた巨理町沿岸部において、津波襲来時における避難道の整備を行うものの、なお避難が遅れる者があると想定されることから、避難丘の整備は必要である。</p> <p>併せて、東日本大震災と同様の被害が生じないようにするためにも、防災公園等を活用した防災教育等のソフト施策を実施する必要がある。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	